

一目瞭然! 実際の燃費変化が一瞬でわかる。

マルチ燃費計

e - n e n p i
Fuel Consumption Monitor

取扱説明書

この度はPIVOT e-nenpiをお買い上げ頂きありがとうございます。
取付、ご使用前には必ず本説明書をお読み頂き、装着後も大切に保管して下さい。なお、説明書の再発行は有償となります。

目次

はじめにお読みください	2
取扱説明書に記載されている用語の解説	2
配線・取付の準備	2
各部の名称とはたらき	3
注意・警告	3
特長	4
e-nenpiが表示する項目	4
こんな使い方ができます	5
e-nenpiを取り付ける	5
配線をする	5
取付をする	6
設定の前にお読みください	6
燃費計測のしくみ	6
燃費計測に必要な設定	6
e-nenpiの設定をする(通常の設定の流れ)	7
車速パルスを確認します	7
車速パルスを設定します	8
ガソリン価格を設定します	9
噴出量設定をします	10
噴出量設定方法の違い	10
噴出量設定方法を選択する	11
燃費入力による設定をします	11
給油量入力による設定をします	13
基本的な操作	15
メイン表示を切り換える	15
メイン表示の見かた	15
区間燃費の見かた	15
好きな区間の燃費・消費量を表示する	16
e-nenpiが高精度に動作しているか知りたいとき	16
おかしいなと思ったら	16

株式会社ピボット

〒390-0313
長野県松本市岡田下岡田87-3
TEL0263-46-5901 (代)
http://www.pivotjp.com/

Pivot

(FCM 2008年5月改訂 No.5)

はじめにお読みください

取扱説明書に記載されている用語の解説

用語	意味
DC12V車	直流12Vのバッテリーを搭載している車です。現在のほとんどの乗用車がこのタイプです。一部の大型RV車は24V車場合があります。
ECU (エンジンコンピューター)	エレクトロニックコントロールユニット又はエンジンコントロールユニットの略。コンピューターによってエンジンの制御をするときの中心となる装置です。各センサーからの情報を元に、エンジンの燃料噴射量や噴射時間を決定します。
⊕B (常時電源)	車のキー位置に関係無く、常時電源が供給されるものです。内蔵時計やメモリー保持関係、メイン電源への電源供給など行います。
ACC (アクセサリ電源)	車のキーが「ACC」の位置にあるときに電源が供給されるものです。
IGN (イグニッション電源)	車のキーが「ON」の位置にあるときに電源が供給されるものです。
GND (アース)	一般的な自動車は、電気系の配線を簡略化するためボディ自体をマイナスの配線として使っており、これをアースまたはボディアースと呼びます。プラスの配線の他はボディにアース線を引くだけで電装品の配線ができます。
インジェクター	燃料噴射装置 (インジェクション) において実際に燃料を噴射するスプレー部分のことです。
インジェクター信号	インジェクターがガソリンを何秒間噴出したかということを知らせてくれる信号です。この噴出時間に噴出係数をかけることでガソリンの噴射量が計算されます。
車速パルス	車の速度に合わせてでている周波 (パルス) のことで、走行距離を計算するために必要な信号です。パルス数は各車種固有のものです。取り付ける車のパルス数が分からない場合は7ページの「車速パルスを確認します」を行ってください。
車速信号	自動車の走行する速度および距離を検出する信号です。
噴出量設定	インジェクターの噴出時間にある係数を掛けるとガソリンの噴出量が分かります。係数はインジェクターの形状によって異なるため、車種ごとの設定が必要です。この係数を自動設定するのが噴出量設定です。

配線・取付の準備

取付を行う前に下記の項目をご確認下さい。

内容物を確認します



本体



両面テープ



カットギボシ
x5



延長コード



取扱説明書



車速・インジェクター
信号配線一覧表

装着可能な車種か確認します

本製品は **DC12V** **車速パルスが2/4/6/8/16/32パルス** 車用です。

一般的な国産の乗用車のほとんどに対応しています。

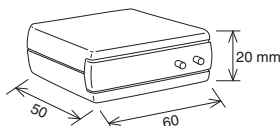
ただし、直噴エンジン・ロータリーエンジン・ハイブリッド車・ディーゼル車・一部特殊制御車 (気筒休止など) は対応不可です。

必要な信号位置を確認します

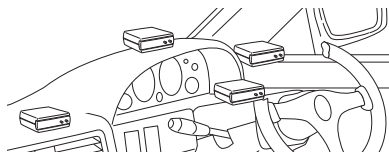
付属の「車速・インジェクター信号配線一覧表」で取り付ける車の信号位置を確認します。

一覧表にない車種でも信号位置が分かれば配線は可能ですので、お近くのカーディーラー等へお問い合わせください。

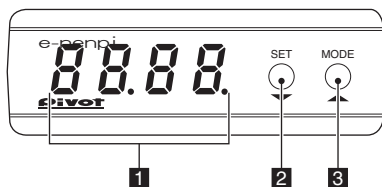
取付位置を決めます



- 平らで ●見やすく
 - 走行の邪魔にならない
- 場所へ取り付けて下さい。



各部の名称とはたらき



- 1 表示部**
各種燃費・消費量のデータや、設定内容を表示します。
- 2 SETスイッチ (▼)**
本体の設定を呼び出したり、設定の確定をします。
- 3 MODEスイッチ (▲)**
メイン表示を切り換えたり、各設定モードへ移行させます。

注意・警告



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。



禁止

換気の悪い場所で作業しない
排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。



強制

バッテリーの⊖側を外して作業する
ショートなどによる火災、破損事故の恐れがあります。



禁止

コードの被ふくを傷つけない
シートレール、ドア等でコードの被ふくが傷つくと、
ショート、接触不良等による火災の危険があります。



強制

製品は安全な場所へ確実に固定する
使用中に製品が外れブレーキなどに挟まると運転操作が行えず大変危険です。



強制

配線はテープなどで収納する
使用中に各配線が絡まると運転操作に支障を来し、無理に
引っ張るとショート等の原因となり、大変危険です。



禁止

運転中に操作をしない
運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、
安全に十分配慮してご使用ください。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と製品その他に
物質的損害が発生する可能性があります。



強制

配線に不安のある場合は専門ショップ
へ依頼する
製品装着には専門知識を必要としますので、不安な方は
専門ショップ等にご依頼ください。



禁止

高温となる場所や水のかかる場所へ
装着しない
故障の原因となります。



強制

DC12V車で使用する
本製品はDC12V車用でそれ以外の電圧には装着できません。



禁止

眩しく感じる場所へ装着しない



エレクトロタップは使用しない
 接続不良の原因となりますので配線は付属のカットギボシ
 または半田付けで行い、配線部は絶縁テープで確実に絶縁し、
 芯線等が突き出ていないかをお確かめください。



装着直後は製品に強い力を加えない
 両面テープによる製品固定は装着初期ははげやすくなって
 いますのでご注意ください。



加工・分解および改造をしない



ネジ・部品は元の状態に戻す

⚠ 製品の表示に関するご注意

給油量と製品の表示は右記理由で多少（5～10%）異なる場合があります。

- 給油する方の満タン判断の違い
- エンジンまでのガソリン経路上の影響
- 給油時の車の傾斜の違い
- ガソリンタンクの構造上の違い

特長

- 燃料消費を高精度表示……………各燃料消費を噴出時間と車速から高速演算し高精度表示。
- 燃費変化が一目瞭然……………給油まで待って計算しなくても燃費が瞬時にわかる。
- 燃費向上の効果がわかる……………エコ運転や燃費向上効果が一瞬でわかる。
- 見やすいタイトル別表示……………用途に応じた様々な消費量変化がわかる。
- 2種類の簡単設定……………燃費入力と給油量入力で装着直後から使用可能。
- 幅広い車種対応……………インジェクター検出式で幅広い車種対応。

e-nenpiが表示する項目

燃費

燃費表示は4種類あります。

燃費
km/L

REAL ○ ○

1. 瞬間燃費

1秒間の燃費の平均値を0.25秒ごとに表
 示します。

AUE ○ ○

2. 平均燃費^{※1}

エンジンをかける～現時点までの燃費の
 平均値をリアルタイムで表示します。

AUEt ○ ○

3. 積算燃費^{※2}

お好きな区間の燃費の平均値をリアルタ
 イムで表示します。

SEct ○ ○

4. 区間燃費

車が動き出してから止まるまでの燃費の平
 均値を停止時に表示します。

消費量

消費量表示は3種類あります。

消費量
L

FUEL ○ ○

1. 消費量^{※1}

エンジンをかける～現時点までの消費した
 ガソリン量をリアルタイムで表示します。

ALL ○ ○

2. 積算消費量^{※2}

お好きな区間の消費したガソリン量をリア
 ルタイムで表示します。

idle ○ ○

3. アイドリング消費量^{※1}

エンジンをかける～現時点までのアイドリ
 ング中に消費したガソリン量をリアルタイムで
 表示します。

ガソリン代

ガソリン代
円

Cost ○ ○

1. ガソリン代^{※1}

エンジンをかける～現時点までのガソリン
 代をリアルタイムで表示します。

※1 エンジンを切ると数値は自動的に0に戻ります。

※2 「好きな区間の燃費・消費量を表示する」(P.16ページ)を行
 わずに4,700km走行すると数値は自動的に0に戻ります。

こんな使い方ができます

	今どのくらいの燃費で走っているのか知りたい	▶▶▶▶▶▶	Ave·Ave 平均燃費・積算燃費
	燃費に良いアクセルの踏み加減を知りたい	▶▶▶▶▶▶	rERL 瞬間燃費
	各種燃費向上グッズの効果を知りたい	▶▶▶▶▶▶	Ave·Ave 平均燃費・積算燃費
	通勤時等の燃費やガソリン代を知りたい	▶▶▶▶▶▶	Ave·Cost 平均燃費・ガソリン代
	出発してから帰ってくるまでの燃費や消費量を知りたい	▶▶▶▶▶▶	Ave·ALL 積算燃費・積算消費量
	信号待ちや停車中にガソリンをどのくらい使っているのか知りたい	▶▶▶▶▶▶	idle アイドリング消費量
	e-nenpiが精度良く動作しているか知りたい	▶▶▶▶▶▶	ALL 積算消費量
	燃費の良い区間・悪い区間を知りたい	▶▶▶▶▶▶	SEct 区間燃費

e-nenpiを取り付ける

配線をする

各信号配線は付属の『車速・インジェクター信号配線一覧表』をご参照ください。

注1 車速信号はナビ用と併用可能です。

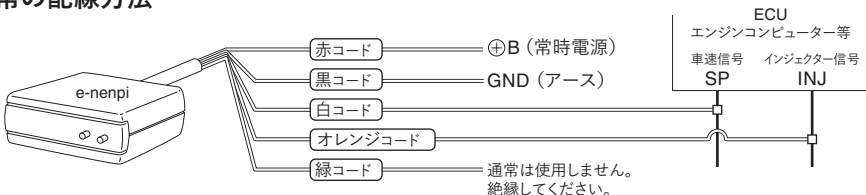
注2 ⊕B 常時電源はキー OFF でも ⊕12V 線です。

ACC (アクセサリ) 電源または IG (イグニッション) 電源では正常に動作しません。

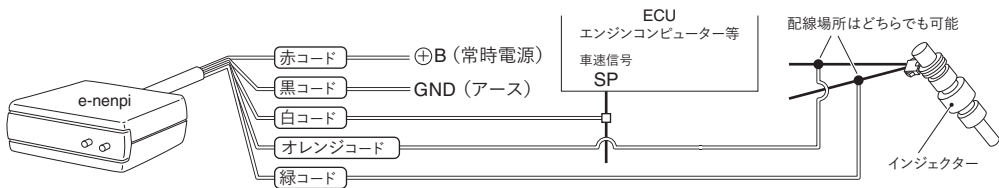
注3 各配線は付属のカットギボシまたは半田付けで行い、市販のエレクトロタップは接続不良の原因となりますので使用しないでください。

※各データと設定内容は本体を取り外したりバッテリーを交換しても記憶されています。

通常の配線方法



インジェクターに直接配線する場合



カットギボシの使い方 (半田付けができる場合は半田付けを行って下さい。)

使用方法 1 配線の途中にコードを接続する場合

- 1 接続するコードの被ふくを10mm位むく。
- 2 製品側コードの先端の被ふくを10mm位むく。
- 3 被覆をむいた箇所をしっかりとめる。
- 4 確実にかしめる。

使用方法 2 切断線どうしを接続する場合

- 1 それぞれのコードの先端を10mm位むく。
- 2 むいたコードどうしをしっかりとめる。
- 3 確実にかしめる。

※かしめには圧着工具を使用し、工具がない場合はペンチ等で折りたたむようにしっかりとめして下さい。
※かしめ後は、ビニールテープ等で確実に絶縁して下さい。

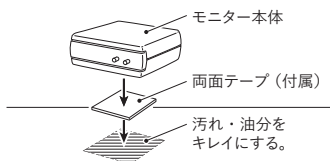
取付をする

モニター本体を車内の見やすい場所へ取り付けます。

- 1 モニター本体と本体を取り付けたい場所の汚れや油分等をキレイにします。

- 2 付属の両面テープにて確実に取り付けます。

⚠️ 貼り直しは粘着力が低下するので行わないで下さい。



設定の前にお読みください

燃費計測のしくみ

燃費とは走行距離とガソリン消費量の比のことで、ガソリン1リットルで走ることのできる距離で表されます。燃費を計測するためには車の走った距離と消費したガソリンの量が必要となります。e-nenpiはインジェクターの噴出時間を利用してガソリンの消費量を演算し、燃費を高精度表示します。

燃費計測に必要な設定

燃費の表示には、2種類の設定が必要です。噴出量設定を終えてから車速パルス設定を行うと、噴出量設定が初期状態に戻ってしまいますので、必ず「車速パルス設定」→「噴出量設定」の順番で行ってください。

- 1 車速パルス設定 | 車の走行距離を計測するための設定です。(☞8ページ)

- 2 噴出量設定 | インジェクターの噴出時間から車の消費したガソリンの量を計測するための係数を設定します。e-nenpiでは2種類の方法があります。(☞10～14ページ)

e-nenpi の設定をする (通常の設定の流れ)

e-nenpi の取付が終わりましたら、次の **1**~**4** の手順で設定を行ってください。

1 車速パルス※を確認します

[H E C]

自分の車の車速パルス数が分かっている場合は確認の必要はありませんので、次の **2** 「車速パルス設定をします」 (p.8 ページ) を行ってください。

ヒント

※車速パルスとは車の速度に合わせて
 行っている周波 (パルス) のことで、走行距離を計算するために必要な信号です。一般的に日産車以外の国産車は4パルス、日産車は2パルス・4パルス・8パルス・16パルスのいずれかになります。

1 エンジンを切ります。e-nenpi の表示が消灯します。



2 SETスイッチを3秒間長押しし、**Start** を表示させます。



3 SETスイッチを押していき、**[H E C]** を表示させます。



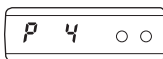
4 MODEスイッチを押し、**[H E C]** が点滅に変わったら5秒以内にエンジンをかけ、**---** を表示させます。



5秒以内



5 車を走らせ、速度が30km/h時のe-nenpiの表示を確認します。



例：4パルスの場合

表示とパルス数の関係

P 2	2パルス	P 8	8パルス
P 4	4パルス	P 16	16パルス
P 6	6パルス	P 32	32パルス

表示の確認はなるべく同乗者のかたが行ってください。
 必ず30km/h時の表示をご確認下さい※

※5秒間操作をしないと手順1の表示に戻ります。

※5秒間操作をしないと手順1の表示に戻ります。

※5秒間操作をしないと手順1の表示に戻ります。

※表示は速度によって変化します。
 例えば、4パルスの車の場合、30km/h付近では P 4 と表示されますが、15km/h付近では P 2、60km/h付近では P 8 と表示されます。

※速度を上げても --- 表示のままのときは下記の原因が考えられます。

1. 車速信号配線不良
 白コードの接続を確認してください。
2. 対応パルス以外の車速パルスの車取付不可の車種となります。

6 **2** 「車速パルスを設定します」で確認したパルス数を設定します。

2 車速パルスを設定します

PULS

出荷時は4パルスに設定されていますので、車速パルスが4パルスの車では設定の必要はありません。次の**3**「ガソリン価格を設定します」(☞9ページ)を行ってください。

1 エンジンを切ります。e-nenpiの表示が消灯します。



2 SETスイッチを3秒間長押しし、SEtを表示させます。



3 SETスイッチを押し続け、PULSを表示させます。

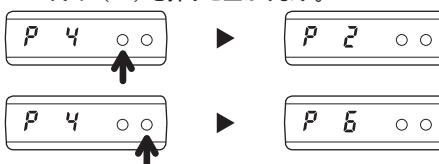


4 MODEスイッチを押し、現在の設定を表示させます。



5 設定する車のパルス数を表示させます。

SETスイッチ(▼)を押すと数値が下がり、MODEスイッチ(▲)を押すと上がります。

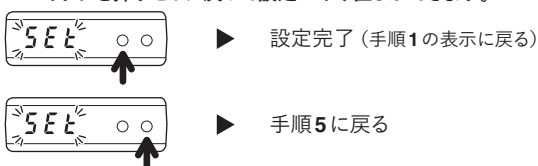


6 設定したいパルス数になったら操作をやめ、5秒間待ちます。表示がSEtの点滅に切り替わります。



例：8パルスに設定する場合

7 SEt点滅中(5秒間)、SETスイッチを押すと設定が完了し、手順1の表示に戻ります。MODEスイッチを押すと5に戻って設定のやり直しができます。



ヒント

⚠注意

噴出量設定を終えてから車速パルス設定を行うと、噴出量設定が初期状態に戻ってしまいますので、必ず「車速パルス設定」→「噴出量設定」の順番で行ってください。

※5秒間操作をしないと手順1の表示に戻ります。

※5秒間操作をしないと手順1の表示に戻ります。

※5秒間操作をしないと手順7へ移行します。

※5秒間操作をしないと手順7へ移行します。

表示とパルス数の関係

P 2	2パルス	P 8	8パルス
P 4	4パルス	P 16	16パルス
P 6	6パルス	P 32	32パルス

※5秒間操作をしないと手順1の表示に戻り、設定が完了しませんのでご注意ください。

3

ガソリン価格を設定します

GAS

現在使用しているガソリン1Lの価格を設定します。出荷時は135円に設定されています。

1 エンジンをかけます。e-nenpiの表示が点灯します。



表示点灯 ○ ○

2 SETスイッチを押していき、GASを表示させます。



GAS ○ ○

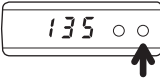
3 MODEスイッチを押し、現在の設定を表示させます。

135 ○ ○
初期設定は135円です。

4 現在使用しているガソリン代を表示させます。
SETスイッチ(▼)を押すと数値が下がり、
MODEスイッチ(▲)を押すと上がります。

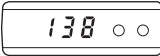


134 ○ ○



136 ○ ○

5 設定したい値になったら操作をやめ、5秒間待ちます。
表示がSEtの点滅に切り替わります。



SEt ○ ○

例：138円に設定する場合

6 SEt点滅中(5秒間)、
SETスイッチを押すと設定が完了し、手順1の表示に戻ります。
MODEスイッチを押すと4に戻って設定のやり直しができます。



設定完了(手順1の表示に戻る)



手順4に戻る

ヒント

※ 5秒間操作をしないと手順1の表示に戻ります。

※ 5秒間操作をしないと手順6へ移行します。

※ 単位は円です。日本円以外の通貨単位で表示させたい場合は「補足説明」(P.10ページ)をご参照ください。

※ 5秒間操作をしないと手順6へ移行します。

※ 設定範囲は1~999円です

※ 5秒間操作をしないと手順1の表示に戻り、設定が完了しませんのでご注意ください。

ガソリン代を日本円以外の通貨で表示させるための設定ですので、通常は設定の必要はありません。

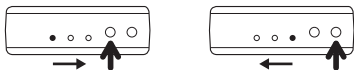
1 エンジンを切ります。e-nenpiの表示が消灯します。



3 SETスイッチを押していき、dotを表示させます。



5 SETスイッチを押すとドットが右へ移動し、MODEスイッチを押すとドットが左へ移動します。



7 SET点滅中(5秒間)、
SETスイッチを押すと設定が完了し、1の表示に戻ります。
MODEスイッチを押すと5に戻って設定のやり直し
ができます。



2 SETスイッチを3秒間押しし、Setを表示させます。



4 MODEスイッチを押すと、現在の設定位置でドットが点灯します。



6 設定したい位置になったら操作をやめ、5秒間待ちます。表示がSetと点滅切り替わります。



例：ドット位置3ケタ目

参考 通貨単位ごとの設定例

国名	ガソリン代例 (1L当たり)	価格単位	入力値	ドット位置
シンガポール	1.34	シンガポールドル	1.34	3ケタ目
マレーシア	1.38	リンギット	1.38	3ケタ目
タイ	19.79	バーツ	19.79	3ケタ目
フィリピン	26.56	ペソ	26.56	3ケタ目
香港	11.93	香港ドル	11.93	3ケタ目
台湾	19.8	台湾ドル	19.8	2ケタ目
韓国	1392	ウォン	1.392*	4ケタ目

*1/1000にて入力

アメリカは速度と距離の単位がマイルのため対応不可となります。

4 噴出量設定をします

IL / FUEL



注意

噴出量設定を終えてから車速パルス設定を行うと、噴出量設定が初期状態に戻ってしまいますので、必ず「車速パルス設定」→「噴出量設定」の順番で行ってください。

噴出量設定を行う前に下記の項目をよくお読みください。

噴出量設定方法の違い

噴出量設定には2種類の方法があります。(詳しい設定方法は11~14ページをご参照下さい。)

1 燃費入力
による設定

燃費を入力し、その燃費分の距離を走行するだけの簡単な方法です。

15.5 km/L
10.9 km/L
2.3 km/L
2.6 km/L

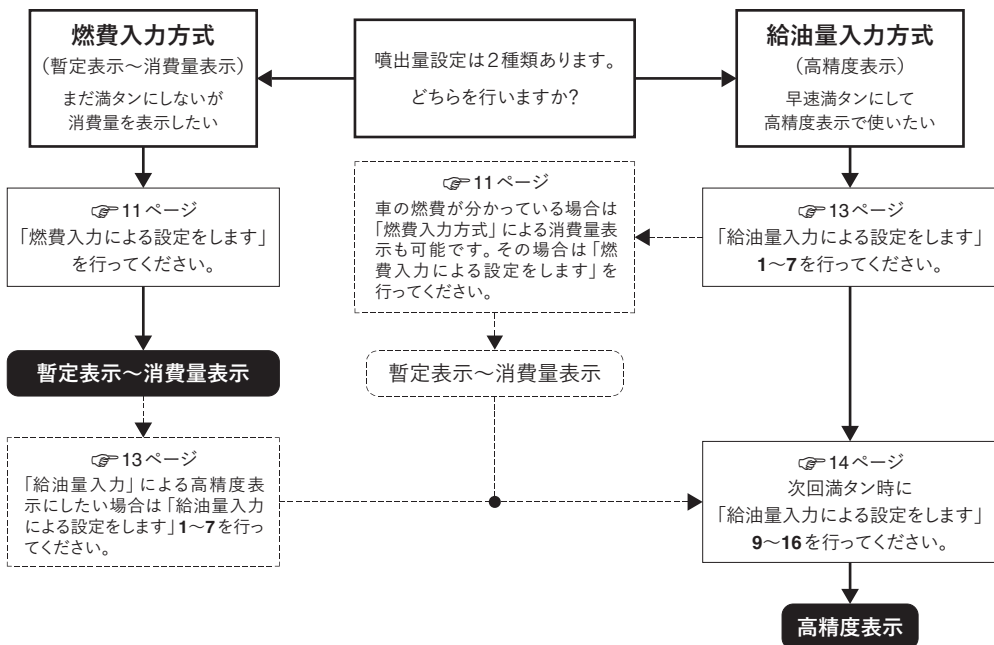
2 給油量入力
による設定

はじめにガソリンを満タンにし、次の満タン給油で給油したガソリン量を入力する方法です。燃費入力よりも高精度な表示が得られます。



噴出量設定方法を選択する

「燃費入力」および「給油量入力」による設定を選択した場合の手順は下記の通りです。
噴出量設定を始める前に、ご自分にあった方法を選択して下さい。



注意

工場出荷状態または車速パルス設定後の表示は出荷時の設定表示となり、実際の消費量とは無関係な表示となります。

燃費入力による設定をします

- 1 エンジンかけます。e-nenpiの表示が点灯します。



表示点灯 ○○

- 2 SETスイッチを押していき、1Lを表示させます。



1L ○○

- 3 MODEスイッチ押し、10.0を表示させます。



10.0 ○○

注：設定完了後でもエンジンを再始動させると表示は上記のようになります。

ヒント

※ 燃費入力による設定では、噴出量係数の設定が入力完了後に行う計測区間の走行状態に依存するため、計測誤差が大きくなってしまう場合があります。この場合は次の「給油量入力による設定をします」を行ってください。

※ 5秒間操作をしないと手順1の表示に戻ります。

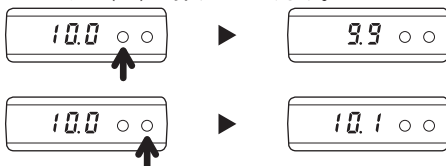
※ 5秒間操作をしないと手順6へ移行します。

※ 単位は km/L です。

※ 設定完了後、エンジンを再始動せずに再度手順1～3を行うと、手順5で設定した燃費が表示されます。

4

設定する車の現在の燃費を表示させます。
SETスイッチ(▼)を押すと数値が下がり、
MODEスイッチ(▲)を押すと上がります。



5

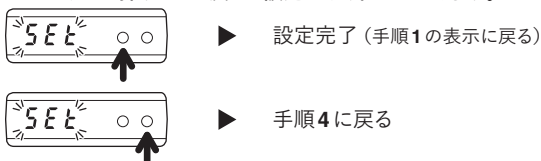
設定したい値になったら操作をやめ、5秒間待ちます。
表示が5Eとの点滅に切り替わります。



例：13.4 km/Lに設定する場合

6

5Eと点滅中(5秒間)、
SETスイッチを押すと設定が完了し、手順1の表示に戻ります。
MODEスイッチを押すと5に戻って設定のやり直しができます。



7

通常走行します。

入力した燃費値の距離(13.4km/Lの場合は13.4km)を走り終わるまでは暫定表示となり、実際の消費量とは異なります。

FUEL(消費量)	走行距離÷入力燃費
コスト(ガソリン代)	消費量× 3 での設定値
上記以外の項目	- - - - 表示(最下位ドット点滅)

8

入力した燃費値の距離を走り終わると自動的に表示が切り替わり以後全ての項目がお使いいただけます。

ヒント

- ※5秒間操作をしないと手順6へ移行します。
- ※設定単位は0.1 km/L、設定範囲は0.1~50.0 km/Lです。

※5秒間操作をしないと手順1の表示に戻り、設定が完了しませんのでご注意ください。

※正しく設定されているか不安な場合はエンジンを再始動せずに再度手順1~3を行い、手順3での表示をご確認下さい。このとき、一度エンジンを切ってしまうと、手順3での表示は設定の内容と関係なく10.0となりますのでご注意ください。

※この区間はなるべく普段通りの運転を心がけてください。また、普段運転する機会の多い場所での走行をしてください。



燃費入力による設定のみでもお使いいただけますが、より高精度な表示をさせたい場合は給油量入力による設定を行います。

給油量入力による設定をします

1 ガソリンを満タンにします。

⚠ 満タン給油時（手順1・9）のご注意

給油誤差は車の傾斜の違いなどにより生じます。

- なるべく同じガソリンスタンドの同じ場所で給油を行う。
- 積載物や同乗者による車の傾きが違わないようにする。
- 満タン付近では給油作業をできるだけゆっくり確実に行う。
(作業にはセルフスタンドが便利です)

2 エンジンを切ります。e-nenpiの表示が消灯します。



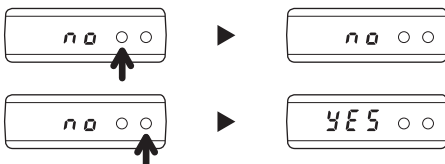
3 SETスイッチを3秒間長押しし、5t r tを表示させます。



4 MODEスイッチを押し、n oを表示させます。



5 SETスイッチを押すと n o、MODEスイッチを押すと y e sを表示します。

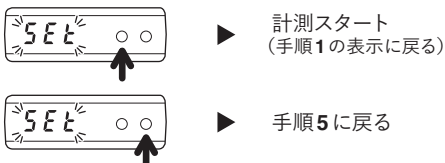


6 設定したい表示になったら操作をやめ、5秒間待ちます。表示が 5 E t の点滅に切り替わります。



例：給油量計測を始める場合

7 5 E t 点滅中（5秒間）、SETスイッチを押すと計測スタートとなり、1の表示に戻ります。MODEスイッチを押すと5に戻って設定のやり直しができます。



ヒント

※ 5秒間操作をしないと手順1の表示に戻ります。

※ 5秒間操作をしないと手順7へ移行します。

※ 5秒間操作をしないと手順7へ移行します。

表示の意味

y e s 給油量計測を始める

n o 給油量計測を始めない

※ 5秒間操作をしないと手順1の表示に戻り、設定が完了しませんのでご注意ください。

次ページへ続きます

8 計測がスタートしましたら、次の給油まで普通に走行して下さい。

9 ガソリンタンクの70~80%以上の燃料を使ったらもう一度ガソリンを満タンにします。

10 エンジンを切ります。e-nenpiの表示が消灯します。



11 SETスイッチを3秒間長押しし、SETを表示させます。



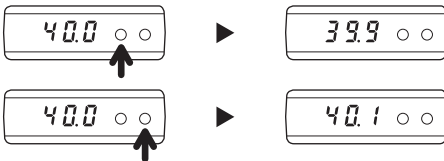
12 SETスイッチを押し、FUELを表示させます。



13 MODEスイッチを押し、40.0を表示させます。



14 手順9での給油したガソリン量を表示させます。
SETスイッチ(▼)を押すと数値が下がり、
MODEスイッチ(▲)を押すと上がります。

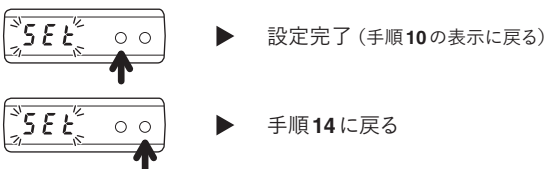


15 設定したい値になったら操作をやめ、5秒間待ちます。
表示がSETの点滅に切り替わります。



例：給油量が38.6Lのとき

16 SET点滅中、
SETスイッチを押すと設定が完了し、手順10の表示に戻ります。
(以後、e-nenpiの全ての項目がご使用になれます。)
MODEスイッチを押すと14に戻って設定のやり直しができます。



ヒント

※ 計測誤差を少なくするために、なるべく多くのガソリンを消費した状態で手順9以降を行ってください。

※ 5秒間操作をしないと手順10の表示に戻ります。

※ 5秒間操作をしないと手順10の表示に戻ります。

※ 5秒間操作をしないと手順16へ移行します。


※ 単位はL(リットル)です。

※ 5秒間操作をしないと手順16へ移行します。

※ 設定単位は0.1L、設定範囲は15.0~500.0Lです。

※ 5秒間操作をしないと手順10の表示に戻り、設定が完了しましたのでご注意ください。

※ 通常、給油量入力是一次行えば高精度な燃費表示となりますので、再度設定をする必要はありません。

 給油量入力完了した後、燃費入力を行うと、給油量入力得られた係数が消去されてしまいますのでご注意ください。

基本的な操作

メイン表示を切り換える

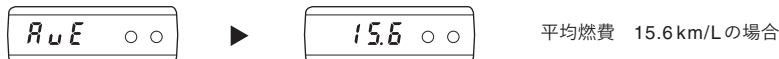
1 エンジンをかけると、メイン表示が点灯します。



2 MODEスイッチを押すごとにタイトル表示が下記の順序で切り替わります。



3 お好きなタイトル表示になったら、指をはなしてください。3秒間後に数値表示に切り替わります。



メイン表示の見かた

各表示の特長は4ページをご参照ください。

燃費を見る

燃費表示は3種類あります。

消費量を見る

消費量表示は3種類あります。

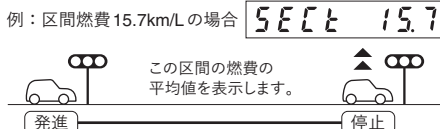
ガソリン代を見る

	タイトル表示	表示例
瞬間燃費 (Real)	REAL	8.5 km/L 8.5
平均燃費 (Average)	AVE	10.3 km/L 10.3
積算燃費 (Average Total)	AVEt	12.5 km/L 12.5
消費量 (Fuel)	FUEL	0.254 L 0.254
アイドリング消費 (Idle)	idLE	0.015 L 0.015
積算消費量 (All)	ALL	28.53 L 28.53
ガソリン代 (Cost)	Cost	1355 円 1355

区間燃費の見かた

区間燃費は停止時に自動で2回スクロール表示します。

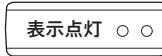
※ idLE (アイドリング消費量) 表示中は表示されません。
 ※ エンジン始動後または区間燃費表示後 140m 以上走行しないと表示されません。



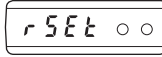
好きな区間の燃費・消費量を表示する

r 5 E t

1 エンジンをかけます。e-nenpiの表示が点灯します。



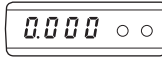
2 SETスイッチを押し、r 5 E t を表示させます。



3 MODEスイッチを押すと「ピー」というブザー音が鳴り、R U E t (積算燃費)・R L L (積算消費量)の値が0に戻ります。



ブザー音



4 「メイン表示を切り換える」で R U E t または R L L を表示させると、手順3の時点から現時点までの燃費の平均値とガソリン消費量が分かります。

ヒント

※ 積算燃費と積算消費量のデータは、エンジンを切っても0に戻りませんので任意の区間の燃費や消費量を調べる時に便利です。

※ 左記操作を行わずに4,700km走行すると、積算燃費と積算消費量のデータは自動的に0に戻ります。

※ (手順2) 5秒間操作をしないと手順1の表示に戻ります。

次のような目的にお使いいただけます。

特定区間の燃費・消費量確認
出発～到着の燃費・消費量を見たい場合は出発時に左記操作を行ってください。

e-nenpiが高精度に動作しているか知りたいとき

1 ガソリンを満タンにします。

2 「好きな区間の燃費・消費量を表示する」の手順1～3を行い、通常の走行をしてください。

3 ガソリンを満タンにします。

4 「メイン表示を切り換える」で R L L (積算消費量)を表示させます。

5 手順3での給油量と R L L の値を比べてください。誤差が大きい場合は「給油量入力による設定をします」(☞13～14ページ)を行ってください。

おかしいなと思ったら

お問い合わせの前に、次の項目をご確認下さい。

症状	原因	対策
エンジン作動中表示されない。	赤・黒・橙・緑コードの接続不良。	各コードの接続を確認する。
走行中各燃費表示されない。	白コードの接続不良。	・白コードの接続を確認する。 ・車速信号線に接続しているか確認する。
燃費入力したが走行しても消費量が加算されない。		
「車速パルスを確認します」で表示が - - - のまま変化しない。		
燃費表示がおかしい。	車速パルス設定の間違い。	「車速パルスを確認します」(☞7ページ)でパルス数を確認する。 ※噴出量設定を終えてから車速パルス設定をしますと、噴出量設定が初期状態に戻りますのでご注意ください。
	インジェクター噴出時間積算値の計測が正常に行われていない。	「噴出量設定をします」(☞10～14ページ)をもう一度行う。